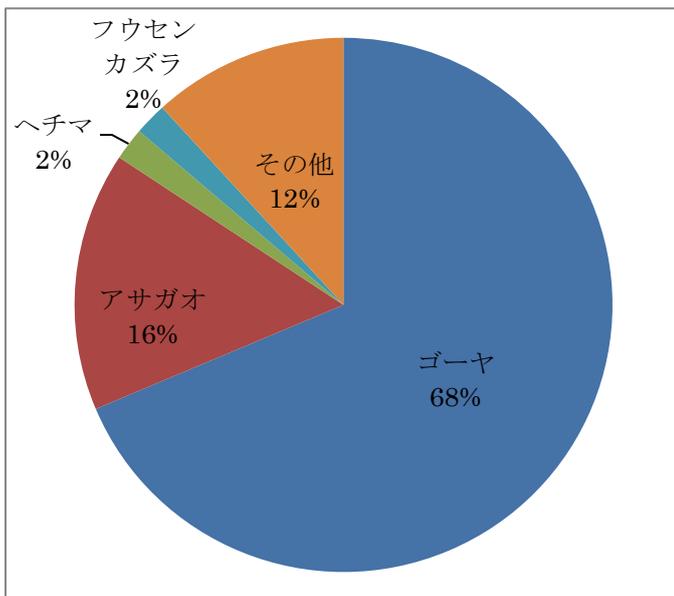


緑のカーテンの育て方

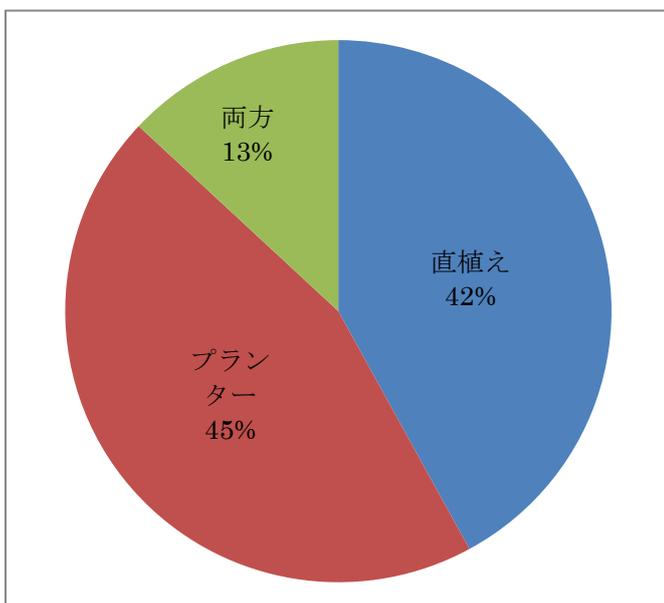
緑のカーテンを育てられた方に、観察記録の提出をお願いしたところ、168名の方から提出がありました。その内容を、一部ご紹介します。

1. どんな植物を緑のカーテンに利用しましたか？



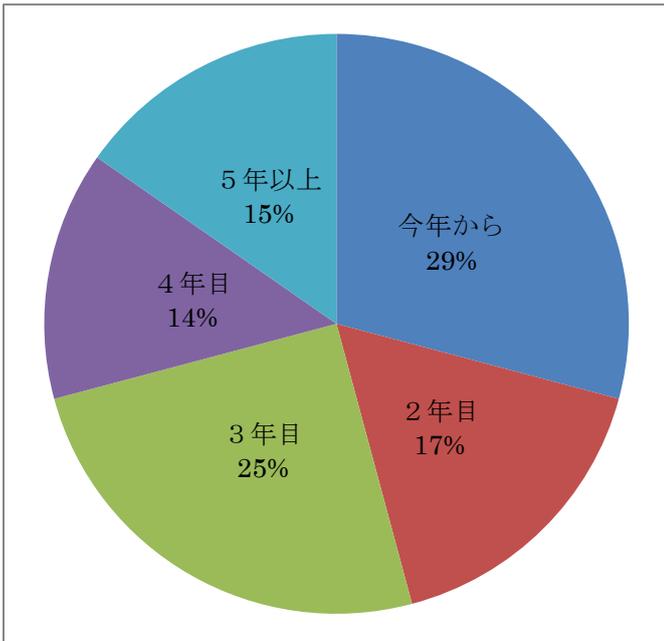
比較的容易に育てられ、葉の茂り方や実が収穫できることで、緑のカーテンとしてゴーヤを選ばれる方は多いようです。市で配布する種や苗もゴーヤですよ。その他にはカボチャやインゲンなどがありました。やはり実のなる植物が人気のようです。

2. どこに植えましたか？



今年はマンションで育てられた方も多く、プランターでの育成が多くなりました。また場所によって直植えとプランターを使い分けるなど、工夫されている方も増えました。プランターは深型の物を準備されたようです。

3. いつから始めましたか？

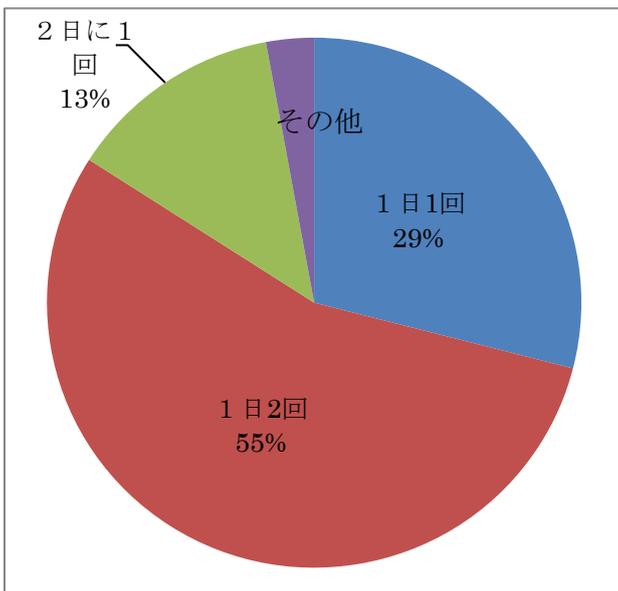


モデル地区の参加の方は、ほとんどが今年から始めた方でした。今後も緑のカーテンの活動を続けていただきたいと思います。

毎年、緑のカーテンの観察記録を提出して頂いている皆さん、ありがとうございます。

(注)「モデル地区」とは町会単位で温暖化対策全般に取り組んでいただく活動で、今年は新規に1つの地区が参加されました。

4. 水やりについて



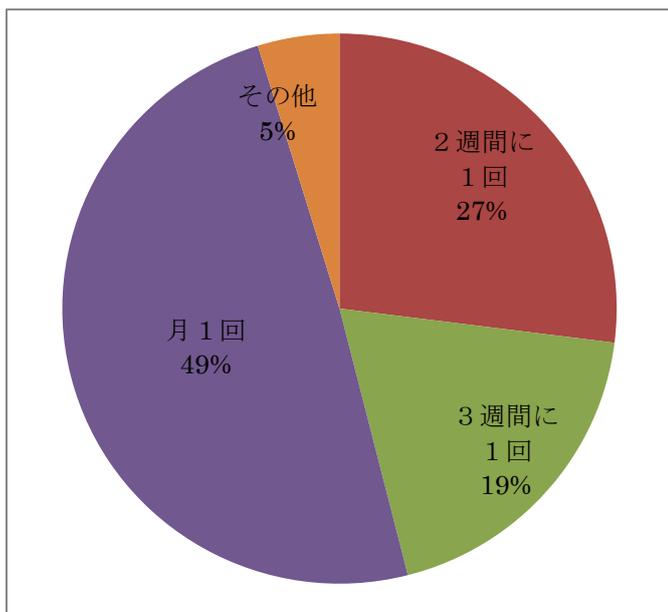
今年の夏は暑かった!!

毎年調査を行っていますが、今年初めて1日2回の方が多くなりました。アンケートの中には「8月は1日3回」という方もいらっしゃいます。

また水やりが大変なので、自動給水機を自作された方も複数いらっしゃいます。事業所・公共施設では休み中の水やりに苦労したようです。



5. 追肥は？



プランターで育成した方のほうが、肥料の頻度が多かったです。

使用した肥料は、牛糞・鶏糞・腐葉土などがあり、専用の化成肥料を利用した方もいました。

また生ごみを処理した「手作りの肥料」という方もいらっしゃいました。

6. 今年、緑のカーテンで苦労したこと

一昨年は6月に台風4号が上陸し、多くの方から「ダメになった。」とコメントをいただきました。今年はその反省をふまえて、「網を張るのに気を使った。」という方が多くいらっしゃいました。

また、春先の気温が低く、種から育てた方は「なかなか発芽しなかった。」
「まいた半分しか発芽しなかった。」という声もありました。もともと種からの発芽は手間がかかりますが、寄せられた記録によると

5月20日 種を水につける。

5月26日 発根はしていないが、種を（土に）まく。

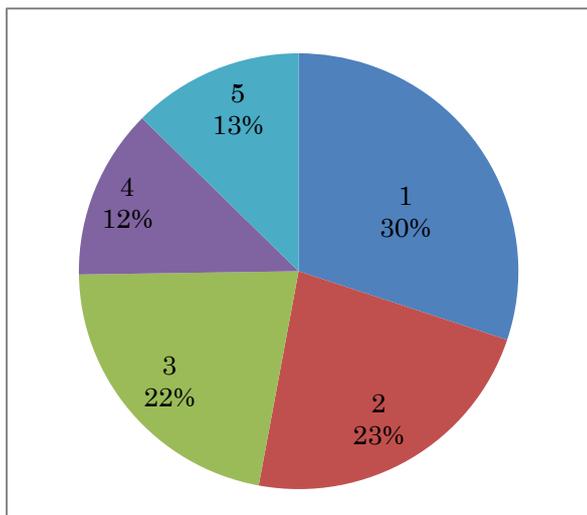
6月10日 まだ発芽しない。

6月12日 発芽した。

無事発芽してよかったですね。（一例です）



7. 緑のカーテンの効果



1. 「緑のカーテン」により、涼しくなった。または涼しく感じた。
2. 緑や花、葉の揺れる音、木漏れ日などに心が癒された。
3. 家族や近所の方とのコミュニケーションが増えた。
4. 冷房温度の設定を変更した。または冷房使用時間が減った。
5. 「緑のカーテン」以外の省エネ活動に関心を持つようになった。または実践した。

今年の夏は記録的な猛暑が続き、あいさつは「暑いですね～」の日々でした。そのなかで「緑のカーテン」は直射日光を遮り、見た目も涼しく、葉の揺れる音や木漏れ日などに心が癒されたようです。なかなか「クーラーを使用しなくても涼しく感じた。」というまでにはいかなかったかもしれませんが、「クーラー使用を控えることができた。」という声がありました。

また、緑のカーテン作りを通して、「お隣さんとコミュニケーションが増えた。」、「ゴーヤのサンルーム」で「ゆったりとした時間を過ごした。」という感想もいただきました。

そして思うように育たなかった方からも、「来年も緑のカーテンを育てたい。」という声が聞かれます。ぜひ、また取り組んでください。応援しています！

来年また、緑のカーテンの話
を聞かせてください！
お待ちしております！！



ふなわりくん

8. どれくらいの大さの緑のカーテンができたの？

個人の部で、平均の幅は、3.7m、高さは3.5m。事業所・公共部門の部では、平均の幅は、6.6m、高さは4.8mでした。

窓に合わせたサイズで複数個所に育てた方や、1枚で広いカーテンに仕立てた方など、それぞれの必要に応じて育て方はいろいろです。

参考として個人の部で一番広いカーテンは52.5m²、事業所・公共の部門では245m²の面積でした。

9. お気に入りのカーテンは？

室内から見る緑のカーテンは光が透けて見えて、みなさんとともお気に入りのようでした。「葉が緑なので部屋から見ると外の景色がレストラン風に見えて食事がおいしくいただけます。」という声もありました。さらにテント型や秘密の隠れ家、テラス仕立ての緑のカーテンは、育てた方も満足していらっしゃるようで、そこでお友達と「お茶をする。」というのは、至福のひとときのようにです。

また、ベランダでの育成で布団干しの邪魔にならないようプランターにキャスターを付けて稼動式のカーテンにした方もいらっしゃいました。



そして今年「コミュニティー賞」を受賞した森のカーテン・プロジェクト様のように、集合住宅で複数世帯での取り組みというものもありました。

10. 育てた感想は？

<よかった点>



カーテンについて

- ・ゴーヤの花や実に寄ってくる虫に子供達は大喜びだった。
- ・ゴーヤの黄色と朝顔の赤い色や仙人草の白い花等がとてもきれい。
- ・食べきれない程のゴーヤの収穫を楽しんだ。
- ・家の中にいて森林浴を味わっている気分。
- ・30cm ぐらい育ったところで強風に会い、ダメになったかと諦めかけていたが思い切って根元近くで切ると、その後また成長。ゴーヤの強さに驚いた。

節電・環境について

- ・緑のカーテンで省エネに寄与した。
- ・室内だけでなく、エアコンの室外機にも緑のカーテンがかかり、エアコンの効率が良かった。
- ・家族全員が環境問題に関心を持ち、率先して省エネ推進をした。

コミュニケーション

- ・緑のカーテンを通して、友人・知人・近所の方と仲良くなった。
 - ・花をつけた時から、毎日何センチ伸びるか楽しみになり、家族の話題となった。
 - ・子供と一緒に水やりしたり日陰で遊んだり楽しい夏を過ごすことができた。



<苦勞した点・課題>

● ネットについて

- ・一人で張るのは大変。
- ・高いところにゴーヤの網を張るのに苦勞した。



水やりについて

- ・真夏の水やりは大変。これにはバテバテだった。
- ・水やりには職員全体の協力が必要と改めて感じた。

そのほか

- ・直射日光が避けられ、快適ではあったが、部屋の中が暗くなる。
- ・高いところのゴーヤを採るのが大変。
- ・上に伸ばしすぎると布団が干せないし実も採りにくい。制限された中での育成だった。
- ・ゴーヤの伸びが早く、2階のベランダまで伸び、剪定することができず、伸び放題だった。

<番外編>

今年寄せられた料理の中に、「干しゴーヤが便利」「ゴーヤのワタはビタミンCが豊富」という声がありました。皆さんは食べたことがありますか？是非、チャレンジしてみてください!!

